

令和8年第2回(6月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 金須 新一 議員
 - 1) 大規模林野火災発生時の備えは
 - 2) 支倉常長公と縁のある自治体との交流を

2. 鈴木 恵子 議員
 - 1) 女性防火クラブについて
 - 2) ふれあい農園について
 - 3) 環境美化対策について

3. 赤間 則幸 議員
 - 1) 町長公約の進捗状況は
 - 2) 道の駅に温泉施設を

4. 田中 三恵子 議員
 - 1) 災害支援型自動販売機設置の推進を
 - 2) 町観光スポットの整備を
 - 3) リチウムイオン電池回収の周知を

5. 鎌田 暁史 議員
 - 1) 介護保険料について
 - 2) 木造住宅耐震改修について
 - 3) 町議会の解散請求署名について

6. 鈴木 利博 議員
 - 1) 部活動遠征時の安全管理
 - 2) 中東情勢の影響による支援
 - 3) 10年後 町の未来図

7. 鈴木 安則 議員
 - 1) 大郷町かわまちづくり事業の進捗について
 - 2) 粕川地区コミュニティセンターについて
 - 3) SSP事業予定地の基盤整備再編入の状況は

8. 赤間 繁幸 議員
 - 1) 観光の振興について
 - 2) 商工業の振興について

3) 住環境整備支援について

9. 佐々木 和夫 議員

1) ふるさと納税について

2) オーガニックビレッジについて

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 大規模林野火災発生時の備えは</p> <p>近年全国各地で、大規模な林野火災が発生している状況にある。昨年2月下旬、岩手県大船渡市で発生した林野火災は、平成以降国内最大規模の林野火災であり、また本年4月下旬にも岩手県大槌町で、大規模な林野火災が発生している。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 消防団現有資機材は、どのような状況なのか伺う。</p> <p>(2) 消防団は、大規模な林野火災に備えての訓練等、充分に実施されている状況にあるのか。また予防対策はどのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 自衛隊や県内、他県から緊急消防援助隊が、応援に駆けつけてきた場合、受け入れ場所・施設等を含め、迅速かつ適切な対応が可能な状況にあるのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 支倉常長公と縁のある自治体との交流を</p> <p>支倉常長公と縁のある自治体と交流をすることで、交流人口、関係人口を増やすことが、本町の活性化や発展に繋がっていくと考えている。以下の点について伺う。</p> <p>(1) スペインのコリア・デル・リオ市と平成3年頃から平成9年頃までの約6年間親密な交流があり、その後交流が途絶えたと同っている。</p> <p>途絶えた経緯、また今後交流を再開し、将来的には姉妹都市や友好都市提携等を結ぶことを念頭に観光、教育、文化等の発展を目指して、国際交流することが、本町にとって有益な取り組みになると考える。町の考えを伺う。</p> <p>(2) 山形県米沢市は、支倉常長公の誕生の地であり、本町は終焉の地とされている。</p> <p>米沢市は、米沢牛ブランドの地であり、本町についても大郷牛のブランドには、なっていないが、畜産業に取り組んでいる実績がある。産業振興、文化交流等、今後深い繋がりを持てる可能性があると考え。町の考えを伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 女性防火クラブについて</p> <p>本町では、人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの維持も課題となっている。そのような中、2行政区で女性防火クラブが解散したと伺っている。</p> <p>(1) 行政区によって活動の負担感に差があると感じるが、町として行政区の現状把握はされているか伺う。</p> <p>(2) 従来型にこだわらず、持続可能な地域防災組織としての女性防火クラブのあり方を町は示すべきと考えるが、町の見解を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. ふれあい農園について</p> <p>農園については、50区画中1区画のみの利用者と伺っている。また地権者との賃貸借契約についても、今年度は単年契約となった。</p> <p>昨年末には、地権者説明会も開催され、その際、「貸付意向確認書」を配布し地権者に回答を求めた。</p> <p>(1) 「貸付意向確認書」に対し地権者からの回答状況を伺う。</p> <p>(2) 現時点で、町として来年度以降に向け、どのような方向性を検討しているのか伺う。</p>	
<p>3. 環境美化対策について</p> <p>本町では毎年5月末「ゴミゼロクリーン作戦」が実施されている。</p> <p>(1) 「ゴミゼロクリーン作戦」を通じて、行政区ごとのポイ捨て、不法投棄の発生箇所について、区長や地域住民からの聞き取りや情報収集を行っているのか伺う。</p> <p>(2) 町として、「ゴミゼロクリーン作戦」は単年度の清掃活動として捉えているのか。継続的な環境美化対策へと結び付けておられるのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 町長公約の進捗状況は</p> <p>町民と約束した「町民と共に進める新しい大郷町」を掲げ、新町長に就任をし、間もなく1年が経とうとしている。</p> <p>町長が掲げた公約の6本の柱の進捗状況が中々見えてこない。以下について伺う。</p> <p>(1) 公約をどのようにして実現するのか。</p> <p>(2) 町民が安心して暮らして行けるまちづくりをどう進めていくのか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 道の駅に温泉施設を</p> <p>町唯一の賑わいのある「道の駅」をパワーアップする事がさらなる活気のあるまちづくりに繋がっていくと考える。そのためにも温泉施設をつくり、交流人口増加、町民の健康増進のため是非とも進めてほしい事業と考えるが、町長の見解を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 災害支援型自動販売機設置の推進を</p> <p>(1) 昨年までは、町の防災拠点となる役場庁舎に設置されていたが、今年度からは事業者から契約更新の辞退があり、現在は役場庁舎に災害ベンダー機能自販機の設置はないと聞いた。その他、本町における設置状況について伺う。</p> <p>(2) 昨今、企業が自販機事業を縮小する傾向がみられているが、フラップおおさと 21、大郷小・中学校、粕川防災コミュニティセンター等、町指定の主要避難所を中心に順次設置を検討されてはどうか。</p> <p>(3) 東日本大震災の経験から生まれた災害対応紙カップ式自動販売機も大きなメリットがある。紙カップ式は「浄水機能」と「加熱機能」を内蔵しており、乳幼児の粉ミルク用に適した温度のお湯を無償提供でき、重要なライフラインとして、1台の設置でも広範囲をカバーできる。本町においても設置の検討が出来ないか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 町観光スポットの整備を</p> <p>(1) 観光スポットとして管理や整備体制が不十分と感じる公園がある。トイレの整備は必要と考えるが、今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 看板の保守・整備を町のPR活動を職務とする地域おこし協力隊に、活動の一環として木製などの耐久性のある看板製作を依頼してはどうか。また木材などの経費を賄って貰えるか伺う。</p> <p>(3) 遊歩道の雑草やわだち、手すりや階段の老朽化による崩れが目立つ公園がある。観光シーズンを控え、安全対策も必要と考えるが、対応策を伺う。</p>	
<p>3. リチウムイオン電池回収の周知を</p> <p>(1) 膨張しているバッテリー、ノートパソコン本体で電池が外せないもの、電動自転車などの大型バッテリー、事業用として使</p>	

<p>用していたものなど、処分の仕方が異なり、捨てる前の安全対策として特別な処置が必要となる。捨てる場所も異なるため、分からない事があった場合の相談窓口についても、周知がますます重要と考えるが、取り組みについて伺う。</p>	
--	--

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 介護保険料について</p> <p>(1) 第9期（令和6年度～令和8年度）の介護保険料は月 6,800 円であり、県内で2番目に高く、全国平均の月 6,225 円より高い金額となっている。なぜ高い水準となっているのか、その理由について伺う。</p> <p>(2) 第10期介護保険事業計画の作成では、介護保険料の低減化に向けた対策が必要と考えるが、見通しについて伺う。</p> <p>(3) 介護保険料の減免や徴収猶予について、直近の申請件数と減免・猶予の実績についてどうなっているか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 木造住宅耐震改修について</p> <p>(1) 令和8年4月に改訂された「大郷町耐震改修促進計画」によると、町内で1981年6月1日以前に建築された旧耐震基準の住宅1,152戸に対し、令和6年度末時点の耐震診断は19戸、耐震改修は8戸となっている。耐震改修が停滞している理由と、その対策について伺う。</p> <p>(2) 耐震改修の助成金において、申請者の委任を受けた請負業者等が補助金の受領を代理で行うことができる「代理受領制度」を利用できる自治体がある。この制度の利用により、申請者は補助金相当額を除いた額で費用の支払いが完了するため、当初の費用負担が軽減される。本町でも代理受領制度を検討すべきと考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>(3) 宮城県では、新耐震基準で1981年～2000年に県内で建築された木造住宅の耐震改修に対し、最終工事費の8割（最大115万円）を今年度から補助する方針としている。3月の予算審査時に、本町でも今年度に助成制度を改定する予定と答弁されたが、いつ頃に改定するのか伺う。</p>	
<p>3. 町議会の解散請求署名について</p> <p>(1) 町議会の解散請求署名に関する裁判で、町は期限の3月11日までに控訴しなかったため、判決が確定した。控訴を断念し</p>	

<p>た理由について、選管の見解を伺う。</p> <p>(2) 3月議会の一般質問で、選挙管理委員長は「選挙管理委員会としての反省点等」については、判決を受けて何が不足していたかを検証し、今後に活かしていく。」と答弁された。その後、検証は行ったのか。行ったのであれば、何が不足していたのか伺う。</p> <p>(3) 裁判費用及び弁護士費用については確定次第議会に報告することだった。各費用の金額と、どのような会計処理を行ったのか伺う。</p>	
--	--

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 部活動遠征時の安全管理</p> <p>ゴールデンウィークに磐越高速道で高校生を亡くすという痛ましい事故があった。本町において部活動遠征時等の安全管理について次の点について伺う。</p> <p>(1) 中学校での部活動遠征時における安全管理に問題が無いか伺う。</p> <p>(2) 親が送迎する場合の安全管理について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 中東情勢の影響による支援</p> <p>中東情勢の影響により、ナフサ不足が生じ、さまざまな業種に影響が出始めている。現にその影響によりやむなく事業停止している。本町による町内事業者への支援等について以下の点について伺う。</p> <p>(1) 町内事業者へ中東情勢による影響把握しているのか。</p> <p>(2) ナフサ不足により、事業を継続していくのに困難と認めた場合町としての具体的な支援は行わないのか。</p> <p>(3) 町独自の金銭的な支援・補助金等を期待している事業者も少なくない。町としての具体的な対応は。</p>	
<p>3. 10年後 町の未来図</p> <p>10年後の本町の未来図について以下の点について伺う。</p> <p>(1) 年代別の人口はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 小中学校は、どのようになっているのか。</p> <p>(3) 町が保有する施設 緑の郷・庁舎・文化会館等はどのようになっているのか。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 大郷町かわまちづくり事業の進捗について</p> <p>SSP事業の撤退により、今後かわまちづくり事業に寄せる期待は益々大きくなっている事から以下の点について伺う。</p> <p>(1) レジリエンスベースの進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 交流拠点施設の予定は。</p> <p>(3) 河川敷を利用した各エリアの概要について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 粕川地区防災コミュニティセンターについて</p> <p>令和元年10月13日に発生した本町始まって以来の未曾有の大水害が発生してから7年目を迎えた。</p> <p>国、県、町の支援により復興のシンボルとなる防災コミュニティセンターが令和7年に完成し、様々な諸団体に使用頂き大変好評である。</p> <p>今後益々利用頂くため下記3点について伺う。</p> <p>(1) 緑地帯の整備について伺う。</p> <p>(2) 水害の記憶を風化させないための施策等について伺う。</p> <p>(3) ミズベで乾杯、継続的開催か伺う。</p>	
<p>3. SSP事業予定地の基盤整備再編入の状況は</p> <p>(1) 60haの再編入に向けた同意は100%得られたのか伺う。</p> <p>(2) 関係機関との協議は開始されたのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 観光の振興について</p> <p>地域経済の活性化を図るため、道の駅周辺及びその他の観光施設において、ひとが集い賑わいある空間づくりを目指し、観光資源の魅力を発信していく具体的な考えを伺う。</p> <p>(1) 道の駅をどうしていくのか。</p> <p>(2) 縁の郷をどうしていくのか。</p> <p>(3) 他の観光資源とは。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 商工業の振興について</p> <p>スーパーマーケットの誘致と移動販売車導入の取組みについて、進行状況を伺う。</p>	
<p>3. 住環境整備支援について</p> <p>民間企業のノウハウを活かした住宅用地整備を積極的に推進していく考えのようだが、町としてどの様な関わりをしていくのか伺う。また、「若者子育て世帯定住促進奨励金」は継続していくようだが、内容を見直す考えはないのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. ふるさと納税について</p> <p>毎年、ふるさと納税の寄付額が減少していると思われるが、今後の対応について所見を伺う。</p> <p>(1) 米や牛肉が寄付額の上位を占めているが、今年度は、どのような対策を進めていく予定なのか伺う。</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税についてもどのような対策を進めていく予定なのか伺う。</p> <p>(3) ふるさと納税により寄付された寄付金は、どのように有効活用されているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. オーガニックビレッジについて</p> <p>農業の新しい取り組みとして、「オーガニックビレッジ」を宣言し「有機農業実施計画」を策定したと思われるが、今後の方針について所見を伺う。</p> <p>(1) 「有機農業実施計画」について農業を生業としている農業者や農業法人は、取り組みやすいのか伺う。また、取り組んだ場合の農業者等のメリットは、どのようなものか伺う。</p> <p>(2) 消費者等に対する野菜の安全安心を含めた品質や価格等のメリットは、どのようになるのか伺う。</p> <p>(3) 本町は、このオーガニックビレッジ宣言を、全国的にも早く行ったが、どのように、アピールしていく予定なのか伺う。</p>	